

富山高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	総合英語Ⅱ
<b>科目基礎情報</b>				
科目番号	0036	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	電子情報工学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	3	
教科書/教材	MY WAY English Communication II New Edition(三省堂)			
担当教員	楽山 進			
<b>到達目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに必要な英検2級程度の語彙や文法事項等を理解し、実際に活用できる。(語彙・文法)</li> <li>・英文を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向を理解し、概要や要点をとらえることができる。(読み解き・聴解)</li> <li>・英語の発音、強勢、抑揚に注意して、音読したり暗唱したりすることができる。(発音・音読)</li> </ul>				
<b>ルーブリック</b>				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)	
	英検2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正確に理解することができます。	英検2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をだいたい理解することができます。	英検2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をほとんど理解することができます。	
評価項目2	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように話す(発表・やりとり)ことができます。	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように話す(発表・やりとり)ことができます。	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、あまり話す(発表・やりとり)ことができない。	
評価項目3	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように書くことができる。	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように書くことができる。	英検2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、ほとんど書くことができない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>				
MCCコア科目 ディプロマポリシー 3				
<b>教育方法等</b>				
概要	<p>(1)目標: 多彩な英文の題材を通して、自他の文化や身のまわりの事象について自分の考えを発信する力を養う。</p> <p>(2)概要: まとめた量の英文を読み、語彙、表現、文構造を理解しながら、本文の内容について英語で意見交換を行う。</p>			
授業の進め方・方法	<p>教員単独による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の内容理解(単語、表現、発音の確認、リスニングと読解、音読)</li> <li>・小グループによる題材に関するプレゼンテーション</li> </ul>			
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業には必ず英和辞典、和英辞典を持参してください。</li> <li>・毎回の授業で小テストを行います。基準点に満たない場合は、再テストを行います。</li> <li>・授業計画は学生の到達度に応じて変更する場合があります。</li> <li>・評価が50点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものは、その評価を50点とする。</li> </ul> <p>【授業改善策】適宜学生の到達度を考慮して適切な進度で授業を実施する。</p>			
<b>授業の属性・履修上の区分</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
<b>授業計画</b>				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	ガイダンス	・授業のガイダンス、自己紹介等	
	2週	Lesson 1 Pictograms	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	3週	Lesson 1 Pictograms	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	4週	Lesson 1 Pictograms	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	5週	Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	6週	Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	7週	Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行なうことができる。	
	8週	中間試験	学習内容の確認テスト	
2ndQ	9週	答案の返却 Lesson 3 Cuba	解答と解説 英語によるプレゼンテーションの方法を理解する。	
	10週	Lesson 3 Cuba	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行なうことができる。	
	11週	Lesson 3 Cuba	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行なうことができる。	
	12週	Lesson 4 The World's Poorest President	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行なうことができる。	
	13週	Lesson 4 The World's Poorest President	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行なうことができる。	

		14週	Lesson 4 The World's Poorest President	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		15週	期末試験	成績評価・確認
		16週	まとめと復習	成績評価・確認
後期	3rdQ	1週	答案の返却	解答と解説
		2週	Lesson 7 An Encouraging Song	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		3週	Lesson 7 An Encouraging Song	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		4週	Lesson 7 An Encouraging Song	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		5週	Lesson 8 Language Contacts	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		6週	Lesson 8 Language Contacts	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		7週	Lesson 8 Language Contacts	題材の内容や語法を理解し、本文の音読、意見の発信、やりとり等を行うことができる。
		8週	中間試験	学習内容の確認テスト
後期	4thQ	9週	答案の返却 Lesson 9 Charles Chaplin	解答と解説 題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		10週	Lesson 9 Charles Chaplin	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		11週	Lesson 9 Charles Chaplin	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		12週	Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		13週	Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		14週	Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。
		15週	期末試験	成績評価・確認
		16週	答案の返却	解答と解説

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	

#### 評価割合

	試験	プレゼンテーション	相互評価	小テスト	レポート	その他	合計
総合評価割合	60	10	0	20	10	0	100
基礎的能力	60	10	0	20	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0